

日々の祈り

2023年3月29日(月)～4月1日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

主日礼拝の説教では『ハイデルベルク信仰問答』(吉田隆訳／新教出版社)が用いられています。その週に示された問いと答えを毎日声に出して読んでみましょう。また、その問答の根拠となった聖書の御言葉を曜日ごとに載せていますので、御言葉を読んで深く思い巡らしつつ、祈りの時を持ちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・2022年度の宮崎中部教会の歩みを、主が守り支えて下さったことへの感謝と、新年度、またわたしたちが新たにされて御言葉に従って歩むことが出来るように祈りましょう。
- ・全国連合長老会中学生高校生修養会(27～29日)が、主の恵みによって若い魂の信仰の励ましと成長の場となりますように。受洗者、信仰告白者が与えられますように。
- ・一週間、全国の教会のそれぞれの祈りの課題と、伝道の働きを覚えて祈りましょう。

問答を毎日声に出して読んでみましょう。

また、問答に関連するその日の聖書の御言葉を味わいましょう。

『ハイデルベルク信仰問答』(新教出版社／吉田隆訳)
第二部 子なる神について 第21主日

問54 「聖なる公同教会」について、

あなたは何を信じていますか。

答 神の御子が、全人類の中から、

御自身のために永遠の命へと選ばれた一つの群れを、

御自分の御霊と御言葉とにより、

まことの信仰の一致において、

世の初めから終わりまで

集め、守り、保たれる、ということ。

そしてまた、わたしがその群れの生きた部分であり、

永遠にそうあり続ける、ということです。

27 日(月) 昨日の主日礼拝の御言葉

エフェソの信徒への手紙 1 章 4 節

天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。

「『聖なる公同の教会』について、あなたは何を信じていますか。」「答え 神の御子が、全人類の中から、御自身のために永遠の命へと選ばれた一つの群れを、御自分の御霊と御言葉とにより、まことの信仰の一致において、世の初めから終わりまで集め、守り、保たれる、ということ。」
教会とは、神さまに選ばれ罪を赦して頂いた者の群れです。

28 日(火) コリントの信徒への手紙一 1 章 2 節

キリスト・イエスによって聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。

「『聖なる公同の教会』について、あなたは何を信じていますか。」「神の御子が、全人類の中から、御自身のために永遠の命へと選ばれた一つの群れ」

「聖なる」教会とは、立派で清い人たちの集まりなのではありません。罪人でありながら、選ばれて、聖なる神さまのものとされ、集められた者たちのことなのです。

29 日(水) エフェソの信徒への手紙 4 章 3 節

平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです。主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ、すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます。

「聖なる公同の教会について…」 「御自分の御霊と御言葉とにより、まことの信仰の一致において、世の初めから終わりまで、集め、守り、保たれる」

キリストの御霊と御言葉によってまことの信仰に生きているならば、時や場所が違って、私たちは同じ一つの教会です。

30 日(木) ヨハネによる福音書 10 章 27~28 節

わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしに従う。わたしは彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びず、だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。

「そしてまた、わたしがその群れの生きた部分であり、永遠にそうあり続ける、ということです。」

よい羊飼いであるイエスさまは、群れの一員であるわたしに永遠の命を与えて下さいます。それは、神さまと共に生きる命のことであり、神の御子イエスさまがわたしたち一人一人を御手によって永遠に捕らえていて下さるということです。

31 日(金) ローマの信徒への手紙 8 章 39 節

高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。

「神の御子が、全人類の中から、御自身のために永遠の命へと選ばれた一つの群れを、御自分の御霊と御言葉とにより、まことの信仰の一致において、世の初めから終わりまで集め、守り、保たれる、ということ。そしてまた、わたしがその群れの生きた部分であり、永遠にそうあり続ける、ということです。」

1 日(土) ゼカリヤ書 9 章 9 節

娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者／高ぶることなく、ろばに乗って来る／雌ろばの子であるろばに乗って。

明日の主日礼拝は「棕櫚（しゅろ）の主日」と呼ばれる日で、イエスさまがエルサレムに入られたことを覚える日です。イエスさまはわたしたちの王として、わたしたちを支配する方として来られます。それは、これから成し遂げられる御自身の十字架の死によってわたしたちを罪の支配から解放し、救いの恵みによってわたしたちを支配して下さることで、わたしたちの王となられるのです。聖句：日本聖書協会『聖書 新共同訳』